

2024年度 病院医療関連職域管理栄養士・ 栄養士育成のため全国リーダー研修会

開催日時：2024年4月20日（土）

場所：エッサム神田ホール

1. 第1号議案 2023年度事業報告の件

2023年度の活動は、スローガン「新たなビジョンの達成に向けて管理栄養士の専門性を高めよう」を掲げ①本ビジョンの周知・共有を図り、医療職域での連携を強化する。②調査・研究に基づく管理栄養士による栄養管理の機能と役割の見える化を進めエビデンスを構築する。③施設及び地域での同職種間連携や、多職種連携によるシームレスな栄養食事指導及び栄養管理体制推進のための情報共有を充実させる。④機能種別に応じた専門領域での生涯教育制度の推進を図るとともに、認定管理栄養士や各分野の専門管理栄養士の取得を奨励する。⑤栄養管理の基盤となる、病院フードサービスを充実させる。⑥専門領域の魅力を発信し、組織強化を図り会員増対策の強化を図る、以上6項目を中心に組み組んできた。具体的な事業としては①全国リーダー研修会や地区リーダー研修会の開催②食事療法学会や臨床栄養学術セミナー等の各種研修会の開催③相談会であるコンサルテーションサロンや養成校学生のための就職応援セミナー④全国栄養部門実態調査等の調査関連⑤日本栄養士会雑誌やホームページ等の広報活動などがある。

2. 2023年度事業計画（案）の件

医療職域のスローガン（案）として「包摂的社会的実現に向けて、更なる病院管理栄養士の配置の充実及び同職種間連携強化を推進しよう」を掲げる。活動戦略の重点項目として①令和版ビジョンを総括し、新たな課題を抽出し解決に向けた事業を展開する②調査・研究に基づく管理栄養士による栄養管理の機能と役割の見える化を進め、エビデンスを構築する③施設及び地域での同職種間連携や、多職種連携によるシームレスな栄養食事指導

及び栄養管理体制の推進のための情報共有を充実させる④在宅分野での栄養管理の充実を図るため、機能強化型認定栄養ケア・ステーションの設置を推進するとともに在宅療養支援診療所等との連携を強化する。⑤機能種に応じた専門領域での生涯教育制度の推進を図るとともに、認定管理栄養士や各分野の専門管理栄養士の取得を奨励する⑥栄養管理の基盤となる、病院フードサービスを充実させるとともに物価高騰等に対応した対策を検討する。⑦リハビリテーションー栄養ー口腔管理の連携・推進を図る⑧専門領域の魅力を発信し、組織強化を図り会員増対策の強化を図る以上8つの提案があった。具体的な事業としてはまず2023年度に引き続き①全国リーダー研修会や地区リーダー研修会の開催②食事療法学会や臨床栄養学術セミナー等の各種研修会の開催③全国栄養部門実態調査等の調査関連④コンサルテーションサロン事業や同職種間連携推進セミナーの実施⑤日本栄養士会雑誌やホームページ等の広報活動などがある。また新規事業、ワーキングとして栄養ケアプロセスに係る様式集作成に関するワーキンググループ及び栄養部門マネジメントの課題解決に向けたワーキンググループの設置を予定している。

3. 2024年度日本栄養士会医療職域事業推進委員選出の件

2024、2025年度日本栄養士会医療職域事業推進委員候補者について信任投票がおこなわれ候補者全員が信任された

4. 2023年度全国栄養部門実態調査報告及び2024年度全国栄養部門実態調査について

2023年度の全国栄養部門実態調査の報告があった。回収率39.1%、また栄養情報提供書についての追加調査もおこなわれ回収率

74.2%であった。主な調査結果として管理栄養士の病棟配置については病棟配置よりも病棟担当制の施設が高い割合を示していた。今後の管理栄養士の病棟適正配置に向けた提言につなげていく。また栄養情報提供書の実施については入院栄養食事指導を実施していても栄養情報提供書を作成したことがある割合が40%近くあったことから、入院栄養食事指導の実施を含めて詳細な検討をおこなっていく必要性が示唆された。

5. 講演

令和6年度の診療報酬改定において標準的な栄養管理体制、栄養評価があげられ世界基準となっているGLIM基準について（公社）日本栄養士会理事である西岡心大先生を講師にむかえてGLIM基準の講演がおこなわれた

6 医療事業推進委員就任・退任あいさつ

新旧の医療事業推進委員の就任・退任あいさつがおこなわれ本日の研修会は終了した。

（文責 医療 内菌雅史）